GEKIMIN
元気な民商ニュース
商工新聞の読みどころ▼

NO，３２５
発行：北区民主商工会
住所：北区豊島２－１３－７
電話：３９１３－６６３２
FAX：３９１３－６７４１

ホームページ　http://www3.kitanet.ne.jp/~kitamins　Eメール　kitamins@ma.kitanet.ne.jp

秋の運動
すべての会員が秋のとりくみに参加しよう！

9月7日、北区民商の第2回理事会をひらき、秋の運動方針を決定しました。民商まつりや大腸がん検診、経営とくらしを守る各種署名をとりくみます。支部役員をはじめ会員どうしが声をかけあい、すべての会員で力を合わせ秋の運動を成功させましょう。

民商まつりにこぞってご参加を

民商まつりまであと1月。会員の力をあわせ、民商まつりを成功させましょう。多くの来場者を迎えるようまつりポスターの貼り出しや福引き券の普及させましょう。模擬店の出店はまだ募集しています。たくさんの来場者を見込むまつりを、商売のチャンスPRのチャンスとして活かしたいという業者の方はぜひご応募ください。業者のつくる民商まつりを盛大におこない、地域でがんばる中小業者の姿を区民にアピールしましょう。

この秋いっせいに大腸がん検診

大腸がん検診を地域の各支部を通じてこの秋いっせいに行います。仲間どうし誘いあって大腸がん検診にこぞってお申込みください。

民商の共済会員は無料。共済未加入の方でも１０００円で受けられます。

またこれを機に10月末までに加入すれば無料で検診を受けられます。仲間の健康を守りあう民商の共済会に、まだの方はぜひご加入ください。

後期高齢者医療制度の廃止を求める北区地域集会

北区社会保障推進協議会　主催

日時　9月２２日（月）午後4時

集会　（区内５ヵ所で開催）

1、浮間緑地公園
2、赤羽公園
3、豊島5丁目団地セイフー前広場
4、堀船公園
5、北谷端公園

民商会員・読者の方は豊島５丁目団地にお集まりください！　集会後、宣伝署名をおこなます。

くらしと営業を守れ国政に声を届けよう

原油・原材料高騰と増税、社会保障負担増が「このままではやっていけない」という危機的状況を広げています。10月22日に日比谷野音で全国集会が開かれます「原油・資材・穀物高騰と公的負担増から経営とくらしを守る緊急署名」など各種署名を集め私たちの声を国政に届けましょう。

桐ヶ丘支部

消費税学習会と暑気払い
会員あつまれば話は尽きず

8月26日、会員9名と民商副会長の富沢欣也さんで学習を兼ねた暑気払いをしました。商工新聞（7月28日付）の政治評論家・森田実氏のインタビュー記事「物価高での消費税増税は中小業者も家計も破たん」を読み合わせしました。いろいろな不満が吹き出て話し出したら止まりません。

ビールと手料理の差し入れがあり、より盛大に。途中で相良区議も参加して、地位の社会保険庁病院の情報も伝わり有意義な一日でした。

北社保病院の存続を区民200人が集う

9月7日、社会保険庁解体にともない全国53カ所の社会保険病院が今年10月に保有者を失いかねない事態が起きている問題で、東京北社会保険病院の存続を考える集いが赤羽北区民センターで開かれ２００人を超える区民が参加しました。

集会は「東京北社会保険病院の拡充を求め地域医療をよくする会」が主催し、民主、共産、社民の国会議員が参加して発言したほか、花川区長からも「北社保病院の医療機能を残すために全力を尽くす」とメッセージが寄せられました。

地域医療を守りたいという区民の声を国政に届け、政府・与党の方針を転換させましょう

お知らせ

★弁護士による無料法律相談日
9月24日（水）
午後2時～民商
※事前連絡要

★虹の会
9月17日（水）
毎月奇数週の水曜日
昼の部／午後2時～
夜の部／午後7時～
民商３Ｆ
銀行やクレジット・サラ金の返済でお困りの方ご参加ください

★本部なんでも相談
毎週木曜日・午後
北区民商

原油・原材料高騰問題

東商連が東京都へ要請
アンケート中間報告を発表

９月４日、東商連は、７月下旬から８月25日ころまでの約１カ月間の間都内の民商会員から集めた「原油・原材料高騰影響調査アンケート」の中間集約結果を発表し、それにもとづき同日、東京都へ要請を行いました。

全業種に影響
半数以上が転嫁困難

アンケートは９月１日時点で２６３人（北区からは20人）から回答が集まりました。

アンケートの集計結果からは、影響は全業種に及んでいることが改めて明らかになり、売上に転嫁できている業者は全体の15％弱で、「転嫁は困難」との回答は約55％と半数以上となりました。

転嫁をした業者でも「転嫁はしたが売れない状況が続いている」「毎月のように値上がりするため、その都度値上げできずに困っている」などの回答もあり、厳しい現状を反映する結果となっています。

「抜本的な対策を」と都へ強く要請

東商連では、９月４日この結果をもとに西村会長らが要請（右下参照）をおこない「融資制度をつくるくらいの小手先の対応ではなく抜本的な対策を」と迫りました。

都は「都としては異例の１０００億円の補正予算を組みます」と回答しましたが、その内５５０億円は新銀行東京の減債とのことで実際に中小企業対策にまわるのは１２０億円くらいでほとんどが預託金とのこと。西村会長らはオリンピックの積立や新銀行への出資を回収して対策をとるよう強く要請し、都は「関係部局に伝える」と回答しました。

東商連がおこなった東京都への要請項目

一、東京都として、緊急に次のことを実施してください

1、便乗値上げ・買いたたき・下請いじめを止めさせる強力な行政指導をおこなうこと
2、都民税・固定資産税などの減税をおこなうこと。納税猶予・分納などの要望に積極的に応じること。
3、東京都の制度融資借入金の「返済凍結」「返済額軽減（借換）」をおこなうこと
4、本人負担利率０％台・３年以上元金返済据え置き・長期返済緊急融資を実施すること
5、国民健康保険料（税）・介護保険料などの減免・猶予をおこなうこと
6、東京都の総合相談窓口を拡充し広くＰＲすること
7、特別交付税制度の活用、実現性が疑問視されるオリンピック招致の積み立ての取り崩し、破綻状態の新銀行東京への出資金を回収するなどで、財源を確保すること

二、国に対し、次のことを申し入れてください

1、原油・原材料高騰に歯止めをかける総合的な対策を行うこと
2、投機マネーを規制する強力で有効な措置を実施すること
3、便乗値上げ・買いたたき・下請いじめを止めさせる強力な行政指導をおこなうこと
4、道路特定財源の暫定税率、ガソリン・軽油・酒などの消費税二重課税を直ちに廃止し、価格を引き下げること
5、原油・原材料高騰の影響を受けている中小業者に対する減税・納税猶予・借入金返済猶予など、負担軽減措置を実施すること
6、セーフティーネット対象業種枠を無くし、影響のある全業種を対象とした緊急融資を実施すること

原油・原材料影響アンケート
北区の会員の声

仲間で知恵と工夫を集めて困難をのりこえよう！

北区民商では製造・加工、建設・土木、卸・小売、サービス、料飲・飲食、運送の業種からアンケート20通を回収しました。

コスト上昇への対応については

・転嫁は困難　11人（55％）
・売上げに転嫁　4人（20％）
・約○％売上げに転嫁　3人（15％）
・転嫁を検討　2人（10％）

との結果でした。集計母数が少ないとはいえ全都の集計でも「転嫁は困難」との回答も約55％。北区内でも半数以上の会員は「転嫁は困難」と考えていることも予想されます。

飲食業の方は食材はじめ軒並み仕入れがアップしたものの、「個人店は値上げするとお客が減る」と「転嫁は困難」と回答。一方、この間厳しいと話題になるクリーニング業の方は「石油溶剤が１５００円、ハンガー１本15円以上値上がり」となりながらも「約10％転嫁。値上げ後離れたお客様はいません」回答し「仕入れが２割増になったので季節セールなどを利用し影響が出ないよう工夫」と対応していると回答しています。

業種によりコスト転嫁の困難度は異なるようですが、物価高と不景気を乗り切るためにはさまざまな知恵と工夫が必要です。

班や支部、または民商のさまざまな集まりで情報を交換し、多くの知恵を集めましょう。

ぜひ、ＦＡＸや電話などで民商ニュースにもみなさまの声をお寄せください。

豊島のまちの９条の会　主催

靖国神社遊就館
見学のご案内

日にち　９月２１日（日）
集　合　13時 地下鉄王子駅改札

新宿平和委員会の長谷川順一さんがガイドで案内します。
希望者は下記へご連絡ください。

沼田紙工　TEL 3912-8680
FAX 3912-8683